



慕

情

— 絵図から見る旅と観光 —

描かれた



2021年 10月30日(土)～12月12日(日)

会場 草津市立草津宿街道交流館

休館日 11月1日・4日・8日・15日・22日・24日・29日 12月6日

開館時間 9:00～17:00(入館は16:30まで)

観覧料 大人 200円(160円)、高校・大学生 150円(120円)、
小・中学生 100円(80円)

※()は20名以上の団体料金 史跡草津宿本陣との共通券あり

主催 草津市・草津市教育委員会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、やむを得ず会期を変更する場合がございます。一度にご入館いただけるのは19名までとさせていただきます。マスクの着用や手指の消毒など感染拡大防止へのご協力をお願いいたします。

掲載資料：歌川広重画「参宮上京道中一覽双六(部分)」(草津市蔵) / 吉田初三郎画「近畿を中心とする名勝交通鳥瞰図(部分)」(草津市蔵・個人コレクション)

描かれた旅慕情 — 絵図から見る旅と観光 —

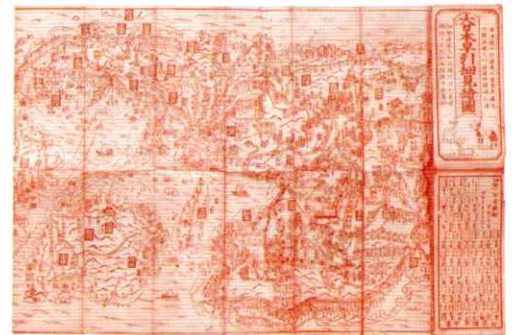
自分の知らない場所へ行ってみたいという気持ちはいつの時代も変わらないものです。現在は、インターネットやテレビで簡単に名所や名物を知ることができますが、それらが無かった時代、人々にそういった情報を伝えた媒体のひとつに絵図や道中案内記、浮世絵がありました。

絵図や道中案内記は、地図として地理的な情報を伝えるだけでなく、その土地の風景や名物などの情報を掲載する、絵画的な描き方をするなど、さまざまな趣向で人々を旅へと誘いました。

この展示では、近世から近代にかけて出版された絵図などを展示し、その当時の旅や観光の様子をご紹介します。

1. 近世の旅 — 旅へのあこがれ —

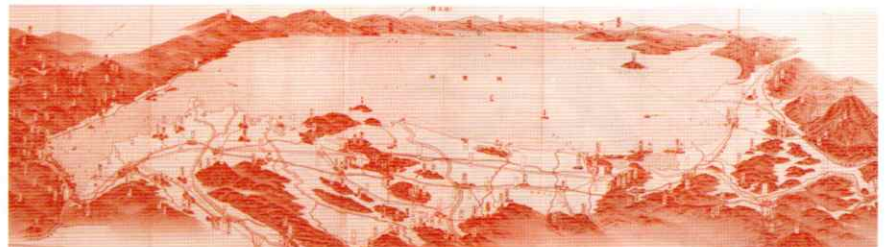
江戸時代、多くの人々が寺社参詣の名目のもと旅に出るようになりました。草津宿が位置する東海道と中山道についても、街道沿いを紹介する実用的な道中案内記や街道を描いた道中絵図などが多く出版されます。インターネットもテレビもなかった時代に、旅へのあこがれをかきたてたものは何だったのでしょうか？



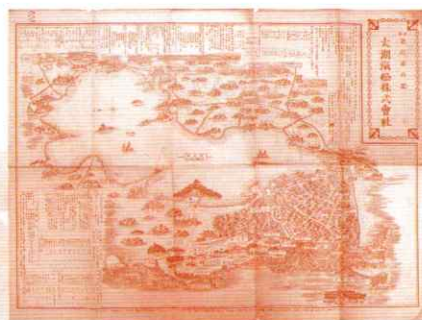
大日本早引細見絵図(草津市蔵)

2. 近代の旅 — 暮らしをいろどる旅 —

近代に入ると、鉄道網の発達などによって、旅はより身近なものとなりました。娯楽としての側面がより強くなり、遊覧旅行を指す「観光」という言葉も一般的なものになっていきます。道中案内記や観光パンフレットに描かれる内容も、歩いて旅をする街道よりも鉄道の線路や汽船の航路を中心としたものへと変化します。より自由に旅ができるようになった時代、人々は何を目的に旅をしたのでしょうか？



清水吉康画「東海道パノラマ地図(部分)」(草津市蔵・個人コレクション)



近江案内記(草津市蔵)

**今年で史跡草津宿本陣は
一般公開25周年を迎えました！**

草津宿街道交流館と史跡草津宿本陣の両館にご入館いただいた方に限定のオリジナルコースターをプレゼントいたします。
※なくなり次第終了



交流館との共通券もあります!! 交流館から徒歩5分!!

草津宿街道交流館

東海道と中山道が合流する宿場町の歴史館



観覧料金	大人	高校・大学生	小・中学生
個人	200円	150円	100円
団体(20名以上)	160円	120円	80円

※市内に居住する65歳以上の方は小学生・中学生の金額と同等です。
※市内に居住する障がい者の方ならびに介護する方は無料です。
【開館時間】9:00~17:00(入館は16:30まで)
【休館日】毎週月曜日(月曜日が休日の場合はその翌日)
休日の翌日(土・日曜と重なった場合は開館)
〒525-0034 滋賀県草津市草津三丁目10-4
TEL 077-567-0030 FAX 077-567-0031
<http://www.city.kusatsu.shiga.jp/kusatsujuku>
Facebook:kusatsujuku
twitter:@kusatsujuku



ホームページ



【JR線でお越しの場合】
JR草津駅東口より徒歩15分
草津駅へは新快速で大阪駅から50分・京都駅から20分
【お車でお越しの場合】
名神栗東IC・新名神草津田上ICより国道1号線経由約15分